

## 世界選手権ドーハ大会における競技パフォーマンス分析 — 走幅跳・三段跳の国際競技力の動向 —

青木和浩<sup>1)</sup>

1) 順天堂大学スポーツ健康科学部

### 1. 男子走幅跳

表 1-1 に 2019 年ドーハ世界選手権の決勝と予選の戦績, 自己ベスト (PB), シーズンベスト (SB), 達成率を示した。

2019 年ドーハ世界選手権には, 日本代表として城山・橋岡・津波選手の 3 名でフルエントリーすることが出来た。他国でフルエントリーしたのは, オーストラリア・中国・アメリカであった。日本チームの戦績として, 橋岡が走幅跳で日本人初入賞となる 8 位, 城山も日本人 22 年ぶりの決勝進出であったが, 決勝では 11 位であった。なお, 優勝はジャマイカのゲイル選手 (23 歳) が 8 m 69 の今季世界最高・大幅自己記録を更新した。優勝候補であったキューバのエチェバリア選手は 8 m 34 で 3 位であった。

表 2 に過去世界大会 (2011 年～2019 年) の予選通過記録と 8 位入賞記録を示した。男子走幅跳においては, 予選通過の平均が 7 m 92 ± 0.05, 8 位入賞の平均が 8 m 03 ± 0.10 となっている。本大会においては予選通過記録 7 m 89, 8 位入賞記録 7 m 97 であり, 日本選手の 3 名もおおむねこの記録に当てはまった戦績であった。

今大会において予選通過をした 12 名の PB・SB の平均は 8 m 42・8 m 32, 予選落ちした 15 名の PB・SB の平均は 8 m 23・8 m 15 であった。予選時における予選通過者の PB・SB 達成率は, 95.2%・96.3%, 予選落ちした者の PB・SB 達成率は, 93.1%・94.0% であった。予選においては, 向かい風の試技が多いこともあり, 各選手の達成率に影響を及ぼしていたと考えられる。しかしながら, 予選通過者の PB・SB は参加標準記録 (8 m 17) より, はるかに高い上に, 達成率が 95% 以上になっているという点が特徴であった。

次に, 決勝進出者の決勝時における PB・SB の達成率を見ると 96.6%・97.8% と予選よりも高くなっ

ていることが分かる。特に 8 位入賞者までを見ると SB の 100% 以上の選手が 4 名も存在し, いかに決勝時において, 高いパフォーマンス発揮ができるかという点が重要であることが伺われた。一方, 日本選手を見てみると橋岡選手は, 予選の PB 達成率が 97.0% に対し決勝では 95.8% であった。城山選手においては, 予選が 94.5%, 決勝が 92.5% と PB に対し十分な力が発揮されていなかった印象を受ける。また, 津波選手も予選の PB 達成率が 93.8% である。これらのことを踏まえると予選では 95% 以上の力を発揮し, 決勝ではそれよりも高い力を発揮できるようなトレーニング計画や調整方法が必要になるであろう。

2020 年東京オリンピックの参加標準記録は, 8 m 22 である。すでに 3 選手がこの記録を越えている。日本の男子走幅跳は, 城山選手の日本記録更新を契機として, 3 選手以外にも 8 m ジャンパーは多数おり標準記録を越えてくる選手が多くなることも予想される。決勝での入賞や表彰台を視野に入れた場合, 予選と決勝を踏まえた戦略が重要課題であることが明らかな結果であったと言える。

### 2. 男子三段跳

表 1-2 に 2019 年ドーハ世界選手権の決勝と予選の戦績, 自己ベスト (PB), シーズンベスト (SB), 達成率を示した。

2019 年ドーハ世界選手権には, 残念ながら日本選手は出場できなかった。他国でフルエントリーしたのは, 中国・キューバ・アメリカであった。

表 2 に過去世界大会 (2011 年～2019 年) の予選通過記録と 8 位入賞記録を示した。男子三段跳においては, 予選通過の平均が 16 m 70 ± 0.09, 8 位入賞の平均が 16 m 88 ± 0.17 となっている。本大会においては予選通過記録 16 m 87, 8 位入賞記録 17

m 06 となり、ここ数年ではレベルの高い試合であったと言える。なお、優勝はアメリカのテイラー選手(29歳)が17 m 92の今季最高記録で3連覇を果たした。

今大会において予選通過をした12名のPB・SBの平均は17 m 62・17 m 47、予選落ちした21名のPB・SBの平均は17 m 24・17 m 14であった。予選時における予選通過者のPB・SB達成率は、96.4%・97.3%、予選落ちした者のPB・SB達成率は、94.8%・95.3%であった。決勝進出者の決勝時におけるPB・SBの達成率を見ると96.7%・97.6%であった。

これらの事から、予選通過者のPB・SBは参加標準記録(16 m 95)より、はるかに高い上に、達成率が96%以上になっているという点である。しかしながら、決勝においても予選と同じ程度の達成率であったことを踏まえると多くの選手が、予選から達成率の高いパフォーマンスをしているといえる。また、決勝も同じように高い達成率となっている上に8位入賞者の中にSBの100%以上の選手が5名も存在していた。このことは、予選から達成率の高いパフォーマンスをしながら、決勝においてさらに高いパフォーマンスをしていることから、多くの選手が世界選手権にシーズンのピークを持ってきているということが伺われる。決勝進出した国別では、中国・キューバは2選手、アメリカは3選手が決勝進出を果たしている。これらの国々は、選手層も厚く、また、高い達成率を発揮する要因があると考えられ、その要因を見つけることも戦略の一つになると思われる。

2020年東京オリンピックの参加標準記録は、17 m 14である。しかしながら、今シーズンの日本ランキング1位は16 m 85の山本選手である。世界の基準は、17 mが最低ラインである。男子走幅跳の様に日本記録更新を契機に一人でも多くの選手が17 mを越える状況になることを期待したい。

### 3. 女子走幅跳

表1-3に2019年ドーハ世界選手権の決勝と予選の戦績、自己ベスト(PB)、シーズンベスト(SB)、達成率を示した。

2019年ドーハ世界選手権には、残念ながら日本選手は出場できなかった。他国でフルエントリーしたのは、フランス・イギリス・アメリカであった。

表2に過去世界大会(2011年～2019年)の予選通過記録と8位入賞記録を示した。女子走幅跳にお

いては、予選通過の平均が6 m 53 ± 0.08、8位入賞の平均が6 m 57 ± 0.13となっている。本大会においては予選通過記録6 m 53、8位入賞記録6 m 56となり、ほぼ過去大会と同じ傾向であったと言える。なお、優勝は、今季急成長のドイツのミハンボ選手(25歳)が7 m 30の今季世界最高・自己新記録を更新して優勝を果たした。

今大会において予選通過をした12名のPB・SBの平均は6 m 96・6 m 87、予選落ちした19名のPB・SBの平均は6 m 83・6 m 77であった。予選時における予選通過者のPB・SB達成率は、96.2%・97.5%、予選落ちした者のPB・SB達成率は、93.7%・94.5%であった。決勝進出者の決勝時におけるPB・SBの達成率を見ると96.2%・97.4%であった。

これらの事から、予選通過者のPB・SBは参加標準記録(6 m 72)より、高く、達成率が96%以上であった。また、決勝においても予選と同じ程度の達成率であったことを踏まえると多くの選手が、予選から達成率の高いパフォーマンスをしているといえる。また、決勝も予選同様に高い達成率となっている上に8位入賞者の中にSBの100%以上の選手が3名も存在していた。特に優勝のミハンボ選手は、予選通過1位、決勝においてはPBの102.0%の跳躍をしていた。決勝進出した国別では、イギリス・アメリカは2選手が決勝進出を果たしている。女子の走幅跳も男子の三段跳と同様に予選においても96%以上の達成率が見られた。

2020年東京オリンピックの参加標準記録は、6 m 72である。2019年のドーハ大会は、インビテーションもありSBが6 m 70付近の選手も出場することが出来た。今シーズンの日本ランキング1位は6 m 45の湊選手である。世界大会への基準は、6 m 70が最低ラインである。一人でも多くの選手が6 m 70を越える状況になることを期待したい。

### 4. 女子三段跳

表1-4に2019年ドーハ世界選手権の決勝と予選の戦績、自己ベスト(PB)、シーズンベスト(SB)、達成率を示した。

2019年ドーハ世界選手権には、残念ながら日本選手は出場できなかった。他国でフルエントリーしたのは、ポルトガルのみであった。

表2に過去世界大会(2011年～2019年)の予選通過記録と8位入賞記録を示した。女子三段跳においては、予選通過の平均が14 m 04 ± 0.11、8位入

賞の平均が 14 m 20 ± 0.10 となっている。本大会においては予選通過記録 14 m 12, 8 位入賞記録 14 m 40 となり、ここ数年では特に 8 位入賞ラインが高い結果であったと言える。なお、優勝は、今季世界歴代 2 位 (15 m 41) を記録したベネズエラのロハス選手 (23 歳) が 15 m 37 で優勝を果たした。

今大会において予選通過をした 12 名の PB・SB の平均は 14 m 79・14 m 65, 予選落ちした 14 名の PB・SB の平均は 14 m 45・14 m 29 であった。予選時における予選通過者の PB・SB 達成率は、96.5%・97.4%, 予選落ちした者の PB・SB 達成率は、95.1%・96.1% であった。決勝進出者の決勝時における PB・SB の達成率を見ると 97.9%・98.8% であった。

これらの事から、予選落ちした選手の達成率が 95% であったにも関わらず、決勝進出できなかった要因として、予選通過者の PB・SB は参加標準記録 (14 m 20) より、はるかに高く、達成率が 96% 以上になっているという点である。また、決勝においては、予選よりも高い達成率であったことを踏まえると多くの選手が、決勝をポイントにした戦術を取っていたことが伺われる。特に決勝において、入賞した選手は、低くても SB の 98.2% であり、決勝における達成率の高さが結果に反映される最たる例となる試合展開であったと言える。決勝進出した国別では、ジャマイカ・アメリカは 2 選手が決勝進出を果たしている。一方、フルエントリーしたポルトガルは 1 名のみ 8 位入賞であった。特に女子三段跳においては、様々な国から才能のある選手が三段跳を行っている印象を受けた。今回の試合を契機に女子三段跳のレベルが高くなる様相を呈しているように思われる結果であった。

2020 年東京オリンピックの参加標準記録は、14 m 32 である。2019 年のドーハ大会は、インビテーションもあり SB が 14 m 18 付近の選手も出場することが出来た。今シーズンの日本ランキング 1 位は 13 m 65 の河合選手である。世界大会への基準は、14 m がスタートラインと言えよう。一人でも多くの選手が 14 m を越え、世界大会にチャレンジできることを期待したい。

## 5. まとめ

本大会における水平跳躍種目の予選・決勝の結果から、全ての種目に共通したものがみられた。当たり前ではあるが、どの種目も参加標準記録より、はるかに高い PB・SB を持っている選手が有利である

という点は明らかである。その中でも、予選においては PB の 95% 以上、SB の 96% 以上の跳躍が必要であることが伺われた。さらに、決勝においては、上位入賞している選手の多くは 100% 近い達成率になっている点が特徴的であった。このことから水平跳躍種目においては、予選と決勝を一体とした戦略と戦術の計画が重要であることが伺われる。

また、スプリント王国のジャマイカや急成長してきたベネズエラなど、様々な国からポテンシャルを持っている選手達の台頭が特徴的であった。2020 にむけて、様々な国の選手情報を得ることも重要である。我が国に目を向けると、男子走幅跳において、上位入賞の可能性も見えており、期待を持てる状況である。その他の種目も来たる 2020 年に向けて、ターゲットとなる記録も踏まえながら、大きなチャレンジに期待したい。

表 1-1 男子走幅跳の予選・決勝におけるパフォーマンス

## M-LJ 【FINAL】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB
1	Tajay Gayle	JAM	8m69	WL 0.5	8m32	104.4	8m32	104.4
2	Jeff Henderson	USA	8m39	SB -0.1	8m52	98.5	8m38	100.1
3	Juan Miguel Echevarría	CUB	8m34	0.1	8m68	96.1	8m65	96.4
4	Luvo Manyonga	RSA	8m28	-0.1	8m65	95.7	8m37	98.9
5	Ruswahl Samaai	RSA	8m23	SB -0.3	8m49	96.9	8m21	100.2
6	Jianan Wang	CHN	8m20	SB 0.0	8m47	96.8	8m18	100.2
7	Eusebio Cáceres	ESP	8m01	-0.4	8m37	95.7	8m19	97.8
8	Yuki Hashioka	JPN	7m97	-0.2	8m32	95.8	8m32	95.8
9	Thobias Montler	SWE	7m96	0.0	8m22	96.8	8m22	96.8
10	Miltiadis Tentoglou	GRE	7m79	-0.2	8m38	93.0	8m38	93.0
11	Shoutarou Shiroyama	JPN	7m77	0.2	8m40	92.5	8m40	92.5
	Steffin McCarter	USA	NM		8m25		8m25	

## M-LJ 【QUALIFICATION】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB	FINAL
1	Juan Miguel Echevarría	CUB	8m40	Q -0.6	8m68	96.8	8m65	97.1	3
2	Jeff Henderson	USA	8m12	q -0.7	8m52	95.3	8m38	96.9	2
3	Yuki Hashioka	JPN	8m07	q -0.7	8m32	97.0	8m32	97.0	8
4	Steffin McCarter	USA	8m04	q -0.8	8m25	97.5	8m25	97.5	-
5	Ruswahl Samaai	RSA	8m01	q -0.2	8m49	94.3	8m21	97.6	5
6	Eusebio Cáceres	ESP	8m01	q -1.3	8m37	95.7	8m19	97.8	7
7	Miltiadis Tentoglou	GRE	8m00	q -1.2	8m38	95.5	8m38	95.5	10
8	Shoutarou Shiroyama	JPN	7m94	q -0.6	8m40	94.5	8m40	94.5	11
9	Thobias Montler	SWE	7m92	q -0.3	8m22	96.4	8m22	96.4	9
10	Luvo Manyonga	RSA	7m91	q -0.1	8m65	91.4	8m37	94.5	4
11	Jianan Wang	CHN	7m89	q -0.6	8m47	93.2	8m18	96.5	6
12	Tajay Gayle	JAM	7m89	q -0.7	8m32	94.8	8m32	94.8	1
13	Henry Frayne	AUS	7m86	-0.6	8m34	94.2	8m19	96.0	
14	Yaoguang Zhang	CHN	7m82	-0.6	8m29	94.3	8m25	94.8	
15	Darcy Roper	AUS	7m82	-0.2	8m13	96.2	8m13	96.2	
16	Changzhou Huang	CHN	7m81	-0.5	8m28	94.3	8m24	94.8	
17	Andwuelle Wright	TTO	7m76	-1.3	8m25	94.1	8m25	94.1	
18	Hibiki Tsuha	JPN	7m72	-0.1	8m23	93.8	8m23	93.8	
19	Héctor Santos	ESP	7m69	-1.4	8m19	93.9	8m19	93.9	
20	Emiliano Lasa	URU	7m66	0.2	8m26	92.7	8m13	94.2	
21	Trumaine Jefferson	USA	7m63	-1.0	8m18	93.3	8m18	93.3	
22	Sreeshankar	IND	7m62	-0.7	8m20	92.9	8m00	95.3	
23	Emanuel Archibald	GUY	7m56	-0.7	8m12	93.1	8m12	93.1	
24	Henry Smith	AUS	7m50	-1.1	8m06	93.1	8m06	93.1	
25	Tyrone Smith	BER	7m49	-1.0	8m34	89.8	7m96	94.1	
26	Yahya Berrabah	MAR	7m37	-0.4	8m40	87.7	8m18	90.1	
27	Chia-Hsing Lin	TPE	NM		8m14		8m14		

表 1-2 男子三段跳の予選・決勝におけるパフォーマンス

## M-TJ 【FINAL】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB
1	Christian Taylor	USA	17m92	SB 0.9	18m21	98.4	17m82	100.6
2	Will Claye	USA	17m74	0.9	18m14	97.8	18m14	97.8
3	Hugues Fabrice Zango	BUR	17m66	AR 0.5	17m58	100.5	17m58	100.5
4	Pedro Pablo Pichardo	POR	17m62	SB 0.1	18m08	97.5	17m53	100.5
5	Cristian Nápoles	CUB	17m38	PB 0.8	17m34	100.2	17m21	101.0
6	Donald Scott	USA	17m17	0.3	17m43	98.5	17m43	98.5
7	Alexis Copello	AZE	17m10	SB 0.6	17m68	96.7	17m02	100.5
8	Jordan Alejandro Díaz Fortun	CUB	17m06	0.8	17m49	97.5	17m49	97.5
9	Ruiting Wu	CHN	16m97	0.3	17m47	97.1	17m47	97.1
10	Yaoping Fang	CHN	16m65	0.4	17m17	97.0	17m17	97.0
11	Necatî Er	TUR	16m34	0.1	17m37	94.1	17m37	94.1
12	Almir dos Santos	BRA	15m01	0.7	17m53	85.6	17m46	86.0

## M-TJ 【QUALIFICATION】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB	FINAL
1	Pedro Pablo Pichardo	POR	17m38	Q -0.2	18m08	96.1	17m53	99.1	4
2	Hugues Fabrice Zango	BUR	17m17	Q -0.3	17m58	97.7	17m58	97.7	3
3	Donald Scott	USA	16m99	q -0.4	17m43	97.5	17m43	97.5	6
4	Christian Taylor	USA	16m99	q 0.3	18m21	93.3	17m82	95.3	1
5	Will Claye	USA	16m97	q -0.1	18m14	93.6	18m14	93.6	2
6	Alexis Copello	AZE	16m95	q 0.1	17m68	95.9	17m02	99.6	7
7	Jordan Alejandro Díaz Fortun	CUB	16m93	q 0.0	17m49	96.8	17m49	96.8	8
8	Almir dos Santos	BRA	16m92	q -0.5	17m53	96.5	17m46	96.9	12
9	Yaoping Fang	CHN	16m92	q 0.2	17m17	98.5	17m17	98.5	10
10	Ruiting Wu	CHN	16m90	q -0.3	17m47	96.7	17m47	96.7	9
11	Cristian Nápoles	CUB	16m88	q 0.0	17m34	97.3	17m21	98.1	5
12	Necatî Er	TUR	16m87	q 0.2	17m37	97.1	17m37	97.1	11
13	Omar Craddock	USA	16m87	0.1	17m68	95.4	17m68	95.4	
14	Dmitriy Sorokin	ANA	16m86	0.1	17m31	97.4	17m31	97.4	
15	Nelson Évora	POR	16m80	0.3	17m74	94.7	17m13	98.1	
16	Yaming Zhu	CHN	16m79	-0.1	17m40	96.5	17m40	96.5	
17	Benjamin Williams	GBR	16m77	0.3	17m27	97.1	17m27	97.1	
18	Alexey Fyodorov	ANA	16m71	-0.3	17m42	95.9	16m97	98.5	
19	Nazim Babayev	AZE	16m65	-0.2	17m29	96.3	17m29	96.3	
20	Yasser Mohamed Triki	ALG	16m62	0.0	17m12	97.1	17m12	97.1	
21	Georgi Tsonov	BUL	16m61	0.1	17m03	97.5	17m03	97.5	
22	Benjamin Compaoré	FRA	16m59	-0.2	17m48	94.9	17m05	97.3	
23	Simo Lipsanen	FIN	16m47	-0.4	17m14	96.1	16m98	97.0	
24	Andy Díaz	CUB	16m41	-0.4	17m40	94.3	17m22	95.3	
25	Chengetayi Mapaya	ZIM	16m36	-0.4	17m13	95.5	17m13	95.5	
26	Jean-Marc Pontvianne	FRA	16m31	0.1	17m13	95.2	16m95	96.2	
27	Latario Collie-Minns	BAH	16m26	-0.3	17m18	94.6	17m04	95.4	
28	Alexandro Melo	BRA	16m26	0.3	17m31	93.9	17m31	93.9	
29	Levon Aghasyan	ARM	16m24	0.0	17m08	95.1	17m08	95.1	
30	Lathone Collie-Minns	BAH	15m89	0.4	16m99	93.5	16m99	93.5	
31	Ruslan Kurbanov	UZB	15m86	-0.3	16m93	93.7	16m93	93.7	
32	Andrea Dallavalle	ITA	15m09	-0.3	16m95	89.0	16m95	89.0	
33	Jordan Scott	JAM	14m73	0.4	17m08	86.2	17m08	86.2	

表 1-3 女子走幅跳の予選・決勝におけるパフォーマンス

## W-LJ 【FINAL】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB
1	Malaika Mihambo	GER	7m30	WL -0.8	7m16	102.0	7m16	102.0
2	Maryna Bekh-Romanchuk	UKR	6m92	SB 0.3	6m93	99.9	6m85	101.0
3	Ese Brume	NGR	6m91	0.2	7m05	98.0	7m05	98.0
4	Tori Bowie	USA	6m81	SB -0.4	6m95	98.0	6m78	100.4
5	Nastassia Mironchyk-Ivanova	BLR	6m76	0.5	7m08	95.5	6m93	97.5
6	Alina Rotaru	ROU	6m71	-0.4	6m91	97.1	6m91	97.1
7	Abigail Irozuru	GBR	6m64	0.1	6m86	96.8	6m86	96.8
8	Chanice Porter	JAM	6m56	0.0	6m75	97.2	6m73	97.5
9	Sha'keela Saunders	USA	6m54	0.2	6m90	94.8	6m78	96.5
10	Brooke Stratton	AUS	6m46	0.1	7m05	91.6	6m74	95.8
11	Shara Proctor	GBR	6m43	-0.1	7m07	90.9	6m84	94.0
12	Anasztázia Nguyen	HUN	6m26	-0.1	6m77	92.5	6m77	92.5

## W-LJ 【QUALIFICATION】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB	FINAL
1	Malaika Mihambo	GER	6m98	Q 0.5	7m16	97.5	7m16	97.5	1
2	Ese Brume	NGR	6m89	Q -0.2	7m05	97.7	7m05	97.7	3
3	Tori Bowie	USA	6m77	Q -0.4	6m95	97.4	6m78	99.9	4
4	Maryna Bekh-Romanchuk	UKR	6m74	q -0.3	6m93	97.3	6m85	98.4	2
5	Alina Rotaru	ROU	6m72	q 0.1	6m91	97.3	6m91	97.3	6
6	Abigail Irozuru	GBR	6m70	q 0.4	6m86	97.7	6m86	97.7	7
7	Nastassia Mironchyk-Ivanova	BLR	6m69	q -0.2	7m08	94.5	6m93	96.5	5
8	Shara Proctor	GBR	6m63	q -0.1	7m07	93.8	6m84	96.9	11
9	Brooke Stratton	AUS	6m58	q 0.6	7m05	93.3	6m74	97.6	10
10	Chanice Porter	JAM	6m57	q -0.3	6m75	97.3	6m73	97.6	8
11	Anasztázia Nguyen	HUN	6m54	q 0.0	6m77	96.6	6m77	96.6	12
12	Sha'keela Saunders	USA	6m53	q 0.6	6m90	94.6	6m78	96.3	9
13	Brittney Reese	USA	6m52	0.6	7m31	89.2	7m00	93.1	
14	Jasmine Todd	USA	6m51	0.0	6m84	95.2	6m79	95.9	
15	Eliane Martins	BRA	6m50	0.2	6m74	96.4	6m74	96.4	
16	Tissanna Hickling	JAM	6m49	0.6	6m82	95.2	6m82	95.2	
17	Tilde Johansson	SWE	6m48	0.5	6m73	96.3	6m73	96.3	
18	Hilary Kpatcha	FRA	6m47	0.3	6m81	95.0	6m81	95.0	
19	Yanis Esmeralda David	FRA	6m46	0.5	6m84	94.4	6m84	94.4	
20	Éloyse Lesueur-Aymonin	FRA	6m46	0.0	6m92	93.4	6m72	96.1	
21	Jazmin Sawyers	GBR	6m46	-0.2	6m86	94.2	6m71	96.3	
22	Chantel Malone	IVB	6m45	0.2	6m90	93.5	6m90	93.5	
23	Petra Farkas	HUN	6m44	1.0	6m72	95.8	6m72	95.8	
24	Yelena Sokolova	ANA	6m43	1.0	7m07	90.9	6m81	94.4	
25	Adriana Rodríguez	CUB	6m39	0.1	6m70	95.4	6m70	95.4	
26	Maria Natalia Londa	INA	6m36	0.3	6m70	94.9	6m68	95.2	
27	Taika Koilahti	FIN	6m35	0.3	6m69	94.9	6m69	94.9	
28	Tania Vicenzino	ITA	6m23	-0.1	6m68	93.3	6m68	93.3	
29	Florentina Costina Iusco	ROU	6m22	0.6	6m92	89.9	6m92	89.9	
30	Nektaria Panagi	CYP	6m21	0.2	6m72	92.4	6m66	93.2	
31	Laura Strati	ITA	6m05	0.3	6m72	90.0	6m65	91.0	

表 1-4 女子三段跳の予選・決勝におけるパフォーマンス

## W-TJ 【FINAL】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB
1	Yulimar Rojas	VEN	15m37	-0.6	15m41	99.7	15m41	99.7
2	Shanicka Ricketts	JAM	14m92	0.2	14m93	99.9	14m93	99.9
3	Caterine Ibarguen	COL	14m73	0.5	15m31	96.2	14m89	98.9
4	Kimberly Williams	JAM	14m64	PB 0.1	14m64	100.0	14m56	100.5
5	Olha Saladukha	UKR	14m52	SB 0.0	14m99	96.9	14m49	100.2
6	Ana Peleteiro	ESP	14m47	0.0	14m73	98.2	14m73	98.2
7	Keturah Orji	USA	14m46	0.4	14m72	98.2	14m72	98.2
8	Patrícia Mamona	POR	14m40	-0.1	14m65	98.3	14m44	99.7
9	Tori Franklin	USA	14m08	-0.6	14m84	94.9	14m57	96.6
10	Rouguy Diallo	FRA	14m08	-0.1	14m39	97.8	14m39	97.8
11	Andreea Panturoiu	ROU	14m07	-0.4	14m47	97.2	14m23	98.9
12	Kristiina Mäkelä	FIN	13m99	0.0	14m38	97.3	14m38	97.3

## W-TJ 【QUALIFICATION】

POS	ATHLETE	COUNTRY	MARK	WIND	PB	%PB	SB	%SB	FINAL
1	Shanicka Ricketts	JAM	14m42	Q 0.6	14m93	96.6	14m93	96.6	2
2	Caterine Ibarguen	COL	14m32	Q 0.5	15m31	93.5	14m89	96.2	3
3	Olha Saladukha	UKR	14m32	Q 0.4	14m99	95.5	14m49	98.8	5
4	Yulimar Rojas	VEN	14m31	Q 0.2	15m41	92.9	15m41	92.9	1
5	Keturah Orji	USA	14m30	Q 0.3	14m72	97.1	14m72	97.1	7
6	Kristiina Mäkelä	FIN	14m26	q 0.4	14m38	99.2	14m38	99.2	12
7	Rouguy Diallo	FRA	14m25	q 0.1	14m39	99.0	14m39	99.0	10
8	Ana Peleteiro	ESP	14m23	q 0.6	14m73	96.6	14m73	96.6	6
9	Tori Franklin	USA	14m23	q 0.7	14m84	95.9	14m57	97.7	9
10	Patrícia Mamona	POR	14m21	q 0.4	14m65	97.0	14m44	98.4	8
11	Kimberly Williams	JAM	14m20	q 0.1	14m64	97.0	14m56	97.5	4
12	Andreea Panturoiu	ROU	14m12	q 0.5	14m47	97.6	14m23	99.2	11
13	Olga Rypakova	KAZ	14m09	0.0	15m25	92.4	14m37	98.1	
14	Dovilė Kilty	LTU	14m09	0.6	14m28	98.7	14m28	98.7	
15	Liadagmis Povea	CUB	14m08	0.3	14m77	95.3	14m77	95.3	
16	Gabriela Petrova	BUL	13m98	0.3	14m66	95.4	14m22	98.3	
17	Ottavia Cestonaro	ITA	13m97	0.1	14m18	98.5	14m18	98.5	
18	Evelise Veiga	POR	13m89	0.1	14m32	97.0	14m32	97.0	
19	Yosiris Urrutia	COL	13m77	0.0	14m58	94.4	14m36	95.9	
20	Susana Costa	POR	13m77	0.3	14m43	95.4	14m43	95.4	
21	Iryna Vaskouskaya	BLR	13m67	0.7	14m30	95.6	14m10	97.0	
22	Diana Zagainova	LTU	13m64	0.0	14m43	94.5	14m43	94.5	
23	Patricia Sarrapio	ESP	13m58	0.1	14m27	95.2	14m27	95.2	
24	Liuba Maria Zaldívar	ECU	13m56	0.1	14m51	93.5	14m05	96.5	
25	Anna Krasutska	UKR	13m16	0.2	14m15	93.0	14m15	93.0	
26	Aleksandra Nacheva	BUL	13m05	0.3	14m18	92.0	14m13	92.4	
27	Yanis Esmeralda David	FRA	DNS		14m35		14m35		
28	Thea Lafond	DMA	DNS		14m38		14m38		

表2 2011～2019 世界選手権・オリンピック 予選通過・8位入賞ライン

	男子 LJ		男子TJ		女子LJ		女子TJ	
	予選通過	8位入賞	予選通過	8位入賞	予選通過	8位入賞	予選通過	8位入賞
2011年テグ大会	8m02	8m17	16m81	17m17	6m51	6m44	14m15	14m12
2012年ロンドン五輪	7m92	7m93	16m62	16m92	6m40	6m35※	14m11	14m12
2013年モスクワ大会	7m89	8m02	16m63	16m74	6m57	6m73	13m88	14m15
2015年北京大会	7m98	7m89	16m73	16m81	6m68	6m67	13m84	14m25
2016年リオ五輪	7m85	8m05	16m61	16m68	6m53	6m69	14m08	14m26
2017年ロンドン大会	7m91	8m18	16m66	16m79	6m46	6m55	14m07	14m13
2019年ドーハ大会	7m89	7m97	16m87	17m06	6m53	6m56	14m12	14m40
平均	7m92	8m03	16m70	16m88	6m53	6m57	14m04	14m20
標準偏差	0.05	0.10	0.09	0.17	0.08	0.13	0.11	0.10

※ドーピング失格3名